

フォーネスビジュアルス検査に関するご留意事項

(本検査のご利用、ご活用については、本ご留意事項に限らず医師とご相談ください)

- ・本検査に健康保険は適用されません。
- ・ご自身の検査において対象となる「将来の疾患予測」の項目をあらかじめご確認ください。
- ・妊娠中の方はご利用いただくことができません。
- ・医師の判断によることなく、本検査の結果を、疾病の診断・治療・予防等に用いることはできません。
- ・本検査は、その結果の正確性や、他の検査方法と同等の結果の提供を保証するものではありません。
- ・将来の疾患予測に関する検査結果は、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。
- ・疾患予測は、将来の発症リスクを評価するものであり、現在の疾病の罹患状況を判定するものではありません。
- ・採血時間の指定及び食事制限はありません。

- ・肺がん発症リスクは、喫煙歴のある方のデータを対象として行われた分析結果に基づき判定します。

なお、喫煙歴のない方に対しても検査結果が算出・提供されます。

- ・認知症発症リスクは、65歳未満の方には20年以内の、65歳以上の方には5年以内および20年以内の発症リスクを推定・判定します。65歳未満の方には、5年以内の発症リスクは推定・判定されません。

- ・検査結果を算出できない、または正しく算出できない場合がある方

全身性エリテマトーデス（SLE）の方は、本検査の全ての項目について、検査結果を算出できない、または正しく算出できない場合があります。

重篤な慢性腎臓病*の方は、心筋梗塞・脳卒中発症リスクおよび慢性腎不全発症リスク以外の項目について、検査結果を正しく算出できない場合があります。

本検査の項目のうち、認知症発症リスクおよび肺がん発症リスクは、その疾病を“初めて発症するリスク”を示すものですので、その疾病を発症したことのある（既往歴があるまたは現在診断を受けている）方には、検査結果を正しく算出できない場合があります。

75歳以上の方は、心筋梗塞・脳卒中発症リスク以外の項目について、検査結果を正しく算出できない場合があります。

その他の要因によって、検査結果を算出できない場合があります。

検査結果を 算出できない場合のある方と その項目	将来の疾患予測								現在の 体の状態	
	認知症 発症リスク		心筋梗塞・ 脳卒中発症リスク		肺がん 発症リスク		慢性腎不全 発症リスク			
全身性エリテマトーデスの方	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
重篤な慢性腎臓病※の方	△				△				△	
認知症を発症したことのある方	△									
肺がんを発症したことのある方					△					
75歳以上の方	△				△		△		△	

(▲：検査結果を算出できない場合あり△：検査結果を正しく算出できない場合あり)

*重篤な慢性腎臓病とは、下表の灰色部分に該当する方です。

GFR と尿アルブミンの区分に基づく 慢性腎臓病の重症度分類				尿アルブミン 区分		
				A1：正常～軽度増加	A2：中等度増加	A3：高度増加
				<30mg/gCr	30～299mg/gCr	≥300mg/gCr
GFR 区分 (mL/分/1.73 m ²)	G1	正常または高値	≥90			
	G2	軽度低下	60～89			
	G3a	軽度～中等度低下	45～59			
	G3b	中等度～高度低下	30～44			
	G4	高度低下	15～29			
	G5	腎不全	<15			

参考：

慢性腎臓病の重症度分類は、世界的には上表のように GFR と尿アルブミンで行うことがスタンダードになっていますが、日本では便宜上、尿アルブミンの代わりに尿蛋白で重症度の分類をしています。日本腎臓学会編集「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018」では、尿蛋白定量 (g/日) および尿蛋白/クレアチニン比 (g/gCr) として、A1：0.15 未満、A2：0.15～0.49、A3：0.50 以上という記載があります。また、重症度分類を行う際は、酵素法で測定されたクレアチニン値（小数点以下二桁表記）を用いること、および 18 歳以上に適用することが規定されています。

- 注) 本検査の全ての項目について、なんらかの要因で検査結果を算出できない、または品質管理試験に合格しなかった場合は、検査結果報告書を作成できません。
- 注) 本検査の一部の項目について、なんらかの要因で検査結果を算出できない、または品質管理試験に合格しなかった場合は、該当項目欄に「測定範囲外」と記載して検査結果報告書を作成します。